

イセンドは、「いせ」と「送る」の英語「send」を組み合わせた造語です。

最新の文化財情報トピックス



二見浦を紹介する企画展「二見浦に魅せられて」を開催します。夫婦岩のジオラマをはじめ、錦絵や絵画など二見浦が描かれた資料を一同に紹介します。開催情報は下記の「企画展情報」を参照！



旧賓日館の耐震診断事業を開始しました。詳しくは裏面を参照！



7月25日に文化財指定を解除し、新規に指定した市指定文化財「境楠(さかいぐす)」と9月10日に登録された国登録有形文化財「旧山田郵便局電話分室」を紹介します。

宮川堤桜たより

今年度も大型台風が上陸し、全国的に甚大な被害をもたらしました。宮川堤の桜にも昨年度ほどではないものの、被害がありました。右側の写真2枚が被害状況時のものです。写真では、わかりにくいかもしれませんが、折れた幹はともに、腐朽が入り弱った幹であることが、断面から見てとれます。

今後の維持管理では、こうした腐朽が入った幹や枝の適切な剪定が必要になってきます。生きている幹・枝の剪定は心苦しいですが、新しい芽を育てていくためにも必要なことです。

折れた桜



桜台風被害状況

腐朽が入り弱っている



折れた幹の断面

コラム

桜の寿命について

宮川堤の桜のほとんどが「ソメイヨシノ」で、寿命が70年から100年ほどと言われています。この寿命は、幹1本あたりの「幹寿命」のことで、寿命をおかえても新芽を適切に育て、次の幹にすれば、理論上半永久的に桜を伝えていくことができるとされています。



企画展情報

文化庁記念物100年展参加事業
「二見浦に魅せられて」

【開催情報】

主催：伊勢市教育委員会

協力：おかげ横丁

会場：おかげ横丁大黒ホール（名産味の館2階）

期間：令和元年11月16日(土)～12月1日(日)

時間：9時30分～17時00分

観覧料：無料

重要文化財 旧賓日館耐震診断事業について

旧賓日館は二見興玉神社近くの旅館街にあり、市が所有・管理しています。明治20年(1887)に伊勢神宮にお参りする賓客の休憩・宿泊施設として建てられました。現在は資料館として公開しており、建物をご見学いただけます。本館・大広間棟・土蔵の3棟に分けて、国の重要文化財に指定されています。

平成31年4月から2年間の期間で、国・三重県から補助金を受けて、地震から建物を守るための調査を実施しています。今年度は構造調査(建物の柱などの状態を調べる)や地盤調査(建物周辺の地盤などの状態を調べる)などを行っています。



地盤調査の様子

伊勢市の新文化財について



国登録有形文化財「旧山田郵便局電話分室」

「旧山田郵便局電話分室」は外宮の北側に位置し、大正12年(1923)に建てられました。電話局建築の中で現存する唯一のレンガ造りであり、当時の電話局の技術を伝える上で貴重なものです。西日本電信電話株式会社が所有し、現在はレストラン・ギャラリー・ショップとして利用されています。



伊勢市指定史跡「境楠」

初代の境楠は枯死したため天然記念物の指定を解除しましたが、今も地域の人々の信仰対象である境楠と周辺環境の保護のため、史跡として新たに文化財指定しました。

「太田小三郎」の案内板ができました！



県道鳥羽松阪線(御幸道路)を内宮に向かった左手にある「太田小三郎君彰功記念碑」前に設置しました。太田小三郎は、明治19年(1886)に神苑会を組織し、神宮徴古館や賓日館の建設、鉄道網の整備など伊勢町の近代化に大きな業績を残した郷土の偉人です。